

1 事業概要

事務事業名		中学校特別支援教育支援事業		課名	学校教育課	事業No.	287
				会計	一般会計		
				事業区分	政策	実施区分	継続
				開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称			
	戦略計画						
	分野別計画						
法令・例規等		学校教育法					
		障害者基本法					
事業目的		対象	特別な支援を要する中学校生徒				
		意図	当該生徒の学校での学習活動を円滑且つ効果的に実施できるよう支援する。				

2 事業内容

30年度 取組	取組内容	経費の内容		事業費(千円)
	1 要介助支援児童や発達に遅れや偏りのある生徒を支援するため、必要な学校に特別支援教育支援員を配置し、個々の状況に寄り添った支援を行いました。 2 特別支援教育支援員のスキルアップを目的とした研修会を実施しました。 3 特別支援学級や通級指導教室など、特別支援教育の推進に必要な消耗品・備品等を整備しました。 4 副学籍制度による特別支援学校在籍生徒と副学籍校における学習・交流活動や、生徒の状況や要望を踏まえた就学校の判断など、インクルーシブ教育の推進に取り組みました。	特別支援教育支援員賃金		16,651
特別支援学級消耗品費、備品費			717	
その他の経費			0	

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
			実績	実績	実績		
	特別支援教育支援員数	人	11	12	11		

30年度 決算 (千円)	予算額		17,732	特定財源内訳及び補足事項			
	決算額		17,368				
	財源の 状況	国庫支出金	0				
		県支出金	0				
		地方債	0				
		その他	0				
	一般財源	17,368					

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	3	2	12	2	17,732	17,368	特別支援教育支援事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									

振り返り課題認識	・特別な支援を必要とする生徒数が増加傾向にあります。支援員の適正な配置や教室の環境整備等に努めていますが、学校の要望に応えきれていない状況です。 ・特別支援学級や通級指導教室の生徒数が増加しており、個々に寄り添った学習支援が求められています。 ・副学籍による学習交流において、在籍校と副学籍校との事前調整や相互の理解促進など、実践面での課題があります。								
上記の課題解決のための有効策	・対象生徒や学校の的確な状況把握、特別支援教育支援員の適正な人数及び効果的な配置に関する検討が必要です。 ・副学籍校における障がい者理解教育の充実や副学籍制度の理解促進が必要です。 ・特別支援学級や通級指導教室担任の専門性の向上や、学習環境の充実が必要です。								
次年度に向けての取り組み	・教育指導主事、教育相談員等が計画的に学校を訪問し、学校や生徒の状況把握、情報共有、的確な指導に努めます。 ・特別支援教育の充実や、障がい者理解教育の推進するため、職員向け研修会を計画的に開催します。 ・特別支援学校の副学籍コーディネーターとの連携を密にし、副学籍による学習や交流を支援します。								